

総合情報メディアセンターNEWS

2023年 1月

第14巻 第4号

身近な情報漏洩対策

機密情報の漏洩がないように日頃から注意していると思います。今回は、利用者の不注意により、意外なところから情報漏洩してしまった事例を2つ紹介します。もし、このような形での情報漏洩を意識されていない場合には、今後は注意するようにしましょう。

1.gmai.comへのメール誤送信

メールの宛先を間違えた誤送信による情報漏洩は後を絶ちません。これを狙って、間違えやすいドメインのメールサーバを立てておいて情報を盗むことが行われています。例えば「gmail.com」に似せた「gmai.com」が有名です。ユーザがgmail.comに送るとき、宛先を間違えてgmai.comに送ると情報を盗めるという手口です。（このような偽ドメインはドッペルゲンガードメインと呼ばれています。）関連して、例えば、apple.comに似せた a p p l e . c o m （pはキリル文字の p）など、多言語の文字列を利用してドメインをだます方法（Punycode Phishing）もあります。



大学や政府機関などでも誤ってgmai.comにメール送信したり、メールを転送したりしている事例が発生しています。送信時や、メール転送の設定時にはアドレスが間違っていないか十分確認しましょう。通常は、アドレスを間違えるとエラーメールが返ってきますが、gmai.comでは、送信者に気づかれないよう、エラーメールを返さないようにしています。確認の際は注意しましょう。

2.不十分な黒塗りでのファイル公開

文書を公開する際、個人情報や機密情報が含まれる部分を黒塗りすることが行われています。しかし、電子ファイルの場合、ツールで黒く塗りつぶしただけでは文字情報が残っているため、復元が可能です。例えばWordで文字の上に黒い四角形をのせただけとか、蛍光ペン機能で黒く塗っただけの場合は、PDFファイルに変換しても文字情報は残っています。PDFファイルを印刷して、印刷物をスキャンしてPDFを作れば文字情報は残りません。（*）



このような形での情報漏洩も、大学や政府機関を含めた多くの例があります。文書を公開するときには注意しましょう。なお、従来通り、印刷した文書を墨で塗りつぶしても、墨が薄い場合には、画像処理ソフトで加工して、文字を復元することもできますので注意しましょう。

（*）有料ですが、Adobe Acrobat Proの墨消しツールを利用する方法もあります。

（准教授 浜元信州）

群馬県立図書館連携展示「福沢一郎」を開催中です

—中央図書館—

中央図書館では、群馬県立図書館連携展示「福沢一郎」を開催しています。福沢一郎（1898-1992）は、群馬県富岡町（現富岡市）生まれの洋画家で、フランス留学後にシュルレアリスムを日本へ紹介した画家として知られています。没後30年を記念して、群馬県立図書館と連携し、群馬県名誉県民でもある福沢一郎を中心とした展示を行っています（※群馬県立図書館での展示は12月25日に終了）。

戦前・戦後の日本の前衛絵画運動を牽引した福沢一郎の作品が紹介された展覧

会カタログや、研究者の論考などを集めました。近現代日本の絵画史を辿りながら、この機会にぜひその作品にも触れてみてはいかがでしょうか。群馬県立近代美術館や富岡市美術館・福沢一郎記念美術館などでも作品を見ることができます。

展示期間：

2022年12月5日（月）～

2023年1月22日（日）

展示場所：

中央図書館1階

展示コーナーB

（中央図書館 山内可菜）



展示図書から

「超現実主義の1937年：福沢一郎『シュルレアリスム』を読みなおす」
伊藤佳之〔ほか著〕 みすず書房、2019.2

国試応援！「合格祈願絵馬コーナー」を設置しました

—医学図書館—

医学図書館では、国家試験に向けて頑張る皆さまを応援するため合格祈願のイベントを実施中です。図書館にお立ち寄りの際は、ぜひ足を止めてご参加ください。

受験される皆さまは絵馬に願いをお書きください。

後輩や教職員の方々は隣の「応援メッセージボード」に温かい励ましのメッセージをお願いします！

日々勉強に励む皆さまを図書館員一同応援しています。無事実力を発揮できますように！

期間：

2022年11月29日（火）～

今年度国試終了まで

場所：

医学図書館 1階ロビー

（医学図書館 藤平政子）



展示企画「防災継続していますか？」を開催中です

—理工学図書館—

2023年は東日本大震災から12年。1923年に起きた関東大震災からは100年の月日が経ちます。100年前の事は現実味が無くても、2011年の震災はまだ記憶に残っているのではないのでしょうか。

当時を思い出してみると、何もできない子供だった方、関東ではなく東北にいた方もいることでしょう。突然の震災に、戸惑いや焦り、悲しみを感じ、困難を突き付けられた方も多かったのではないのでしょうか。

では、震災に備えて準備していることはありますか。震災直後は準備してい

た防災、最近も続けているのでしょうか。大人となった今、日頃から準備出来ることをしてみませんか。

理工学図書館では、日常に取り入れる防災や、知っているとお便利なおしゃれに防災したい方や、太陽光発電の作り方まで幅広い図書を展示します。この機会に是非お越しください。

期間：

2023年1月5日（木）～

2023年3月10日（金）

場所：

理工学図書館入口ロビー

（理工学図書館 森山沙織）



「PubMed利用ガイド」を作成しました

—医学図書館—

医学図書館では、データベース利用ガイドの第2弾として「PubMed（パブメド）利用ガイド」を作成しました。PubMedは世界中の主要な医学関連分野の雑誌に掲載された文献情報を、無料で検索できるデータベースです。

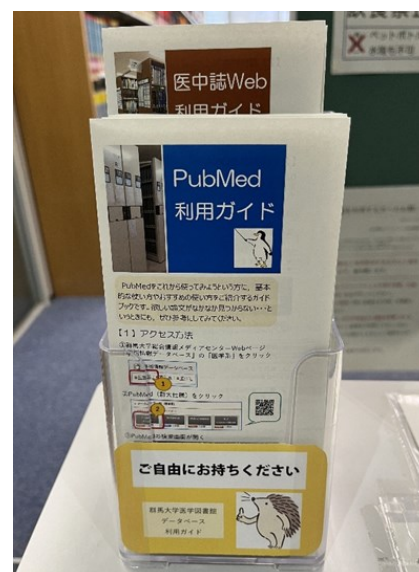
PubMed初心者の方を対象に、キーワードを使った基本的な検索からMeSH

（メッシュ：統制語）を使った検索まで、様々な検索方法を紹介しています。本文のフルテキスト入手が容易

になる、群大仕様URLのアクセス方法も載せています。

1階PCコーナー入口、1階と2階のパンフレット架に設置していますので、ご自由にお持ちください。今後はウェブサイトから見られるようにする予定です。第1弾の医中誌Web利用ガイドとセットで、ぜひご利用ください。

（医学図書館 飯塚愛）



GFL学生企画展示「Crossing Stories」を開催しました

—中央図書館—

10月19日～12月27日まで、中央図書館では群馬大学グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラムの学生による企画展示「Crossing Stories」を実施しました。「多文化共生—世界のお祭りとクリスマス—」をテーマに、ポスターや図書を展示しました。

ポスターでは、留学生にインタビューを行い、ウクライナやフィンランドのほか、インドネシア、フィリピン、モンゴル、ネパールなどその国で大切にされている季節のお祭りやクリス

マスの過ごし方が紹介されました。

また、クリスマス絵本や手作りのクリスマス飾りも並び、素敵な展示になりました。忙しい授業の合間をぬって、展示準備を進めてくれたGFL学生の皆さん、ありがとうございました！

（中央図書館 山内可菜）



卒業生サービスについて

■図書館

開館時にはいつでも入館可能です。図書の閲覧に加え、本学で契約している電子ジャーナル、データベースのほとんどを館内から利用できます。「図書館利用証」の発行を受ければ、図書の貸出もできます。

なお、お近くの公共図書館から本学図書館の本を借りることもできます。

※新型コロナウイルス感染症により、利用可能サービスが通常と異なるため、最新の情報はWebサイトをご確認ください。

■全学Gmail

卒業後もメールアドレスは変わりません。本学からのメールをお送りすることがありますので、引き続きご利用ください。

■マイクロソフト

包括ライセンス
Office 365をご利用していた方は卒業後、直ちに利

用できなくなります。その他のソフトは利用できますが、新規インストール・アップグレードはできません。

■トレンドマイクロ製品

卒業後は利用できなくなります。直ちにアンインストールしてください。



群馬大学総合情報メディアセンター

荒牧地区：前橋市荒牧町4-2
昭和地区：前橋市昭和町3-39-22
桐生地区：桐生市天神町1-5-1

TEL (027)220-7170
FAX (027)220-7184



本コンテンツは、クリエイティブ・コモンズの表示-改変禁止 3.0 ライセンスのもとでライセンスされています。

Webサイト <https://www.media.gunma-u.ac.jp/>

図書館ブログ <https://blog.media.gunma-u.ac.jp/>

Twitter公式アカウント [@Media_Gundai](https://twitter.com/Media_Gundai)